

材料調達から
一貫生産までの
トータルソリューション

長尺加工全般
旋盤／マシニング センターレス研磨
円筒研磨／摩擦圧接 曲がり矯正等
Booth No.D-16
シャフト、ローラーの専門メーカー
株式会社 オーテック
Tel 0270-63-3300



省エネ・高付加価値化技術を紹介

モノづくりの高度化や高付加価値化を支える最新の
技術・製品が一堂に集まる（昨年の会場）

□ 日本電子工業

表面改質展に参展する日本電子工業（相模原市中央区）は、高周波焼き入れから事業をスタートし、今やプラスマ窒化装置で国内シェア9割を握る。近年はダイヤモンドライカーボン（DLC）の領域でも、既存のプラズマ化学気相成長（CVD）法に加え、物理

VACUUM2017 真空展 難加工技術展2017／表面改質展2017

パシフィコ横浜 8日まで

真空技術は半導体や薄型ディスプレー（F-PD）、電機・電子分野、医療機器、分析機器などに加え、近年注目を集めている新エネルギー、環境関連分野にも密接に関わる基盤技術。今回の展示会のテーマは「見えない力で魅せる真空」。会場には国内外から78社・団体が集結し、真空関連の最新技術や製品、情報などを発信す

る。「真空技術が魅せる世界」へ次世代加速器と真空装置・コンポーネント」と題し、は展示ホール内講演会

宇宙誕生の謎に迫る次世代加速器をつくる国際リニアコライダー計画E-V要素技術実証研究会も実施する。

難加工技術展 表面改質展

99社・団体一堂に

難加工技術展、表面改質展では、モノづくりにおいて重要性が増している省エネルギーは、バネ医療用ガイドワイヤや内視鏡用長巻バネなどを手がける企業が、関連サービスを展示。紹介する。今回は「医療関連加工・両展で99社・団体が出展する。難加工技術展内には恒例となっている「試作加工受託ゾーン」を設置するとともに、今後は「医療関連加工・以降で、「石膏鋳造に

真空展を含めた出展社によるワークショッピングは3日間で19本を実施する。難加工技術と表面改質の関連は7日間で99社・団体が出展する予定だ。

難加工技術展では、モノづくりの高度化や高付加価値化を支える最新の技術・製品が一堂に集まる（昨年の会場）



あす
開幕！

あす6日、パシフィコ横浜（横浜市西区）で「VACUUM2017 真空展」「難加工技術展2017」「表面改質展2017」が開幕する。主催は真空展が日本真空工業会と日本真空学会。難加工技術展、表面改質展は日刊工業新聞社が主催する。会期は8日までの3日間で、時間は10時から17時まで。入場料は1000円（招待券持参者やウェブ事前登録者の個人および15人以上の団体、学生は無料）。会期中に2万人の来場を見込んでいる。

真空展 78社・団体が 出展

デモンストレーションや実機展示により、先端技術を来場者に分かりやすくアピール（昨年の真空展）

気相成長（PVD）法にも参入。金属の表面処理加工業界の中でも存在感を高めている。

は1973年に国内で初めて実用化に成功。

表面処理の受託と装置

は、プラズマ窒化装置で

販売の両方を手がけ、特に国内の装置市場で

玉城町）は、精密旋盤は圧倒的な強さを誇る。自動車、電子機器、産業用機械向けの段階に、CVDとの競合部品などで、難削材の一つであるTa（タンタル）の加工物（タンタル）を展示する。PVD法によるDLCはすでに量産試作

する。自動車、電子機器、産業用機械などで、難削材の多様なニーズに対応してきたノウハウも展示する。

顧客の獲得を目指す。

同社独自の加工方法で、純タンゲステン、純モリブデン、純ニッケル、純銀、コバルト、ステンレスなどを切削する。一部の分野では、スマートな（マテリアル）の超精密加工にも対応している。

放電や研磨での加工が主流の難削材を、切削加工することで月産8000個以上の量産が可能だ。また、雌ネジ、雄ネジ、薄肉パイプなどの形状にも対応する。

多品種・少ロットの要請にも柔軟に対応。

素材から、表面処理を含む、完成品まで、一貫した体制で、品質づくりを行う。

これまで、1本から量産まで、1本から量産まで、素材選定から製造工程、表面処理選定まで困りごとに応じます。